

鹿児島県立博物館研究報告

第9号（平成2年）

BULLETIN OF THE KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

No.9 (1990)

| | |
|---|----|
| 福田晴夫・二町一成・守山泰司：日本産ナガサキアゲハの有尾型雌について （第6報） | 1 |
| 畠田健治：黒島の昆虫相（第2報） | 5 |
| 畠田健治：薩摩硫黄島の昆虫相 | 9 |
| 畠田健治：鹿児島県のバッタ目の分布（第1報） | 14 |
| 井出口龍哉：鹿児島湾のムラサキイガイ（第1報） | 18 |
| 脇忠雄：トカラ列島の植物（I） 口之島の採集目録 | 23 |
| 脇忠雄：どんぐり拾い（遊び）からどんぐりの背くらべ（科学）へ ——マテバシイの堅果の落下量と堅果の高さの変異について | 30 |
| 山切美澄：海浜砂の粒度及び構成鉱物について | 34 |
| 久留義孝：ロボット「はくちゃん」の製作 | 37 |
| 井出口龍哉：移動展示活動についての一考察 | 43 |
| Haruo Fukuda, Kazunari Nicho and Taiji Moriyama : Notes on the tailed females of the Great Mormon, <i>Papilio memnon</i> L. (Papilionidae, Lepidoptera) in Japan (VI) | 1 |
| Kenji Hatada : The insects of Kuroshima, Mishima Isls., Kagoshima Pref. [II] | 5 |
| Kenji Hatada : The insects fauna of Satsuma-Iō-jima, Mishima Isls., Kagoshima Pref. | 9 |
| Kenji Hatada : The distribution pf ORTHOPTERA in Kagoshima Pref. [I] | 14 |
| Tatsuya Idekuchi : Notes on themussel in Kagoshima Bay | 18 |
| Tadao Waki : Flora of Kutinoshima Island ,Kagoshima | 23 |
| Tadao Waki : The amounts and the sizes of falled "Donguri" (nuts) of <i>Lithocarpus edulis</i> (FAGACEAE) | 30 |
| Yoshizumi Yamakiri : On the grain-size distribution and the mineral composition of the beach rock in Kagoshima Pref. | 34 |
| Yoshitaka Hisadome : How did we make the Robot "Haku-chan"? | 37 |
| Tatsuya Idekuchi : A note on the traveling museum display | 43 |

鹿児島県立博物館

KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

KAGOSHIMA, JAPAN

はじめに

今年度もささやかな調査資料を「研究報告」第9号としてまとめてみました。いつものとおり、鹿児島県の自然に関する記録や博物館活動についてのレポート集です。

調査研究は、資料収集や教育普及活動とともに博物館の3大事業の一つに位置付けられていますが、学芸員の熱意や館の研究環境が最もよく反映される場でもあります。このことはよく承知しているつもりですが、学術的に厳しい評価をすれば、本誌はまだまだ極めて未熟なものです。ただ曲がりなりにも年1回発行のペースを守り、継続できることを、長い目で見て将来への期待につなげたいと思います。

私たちはこの小冊子が、多くの人達に利用されることを願っています。県内の自然についての記録は、いますぐ役には立たなくても、一つの確かな証拠として永遠に価値をもつものでしょうし、博物館活動に関する記録もやはり書き留めておくべき何かがあるものと信じます。

今後は、本誌が県民にも開かれた発表の場として、館外からの投稿も受け入れるなど、更に脱皮して発展することを願っています。

1990年3月

館長 福田 晴夫